

# 診療所だより



令和3年4月号外

神崎市国民健康保険脊振診療所  
〒842-0201 神崎市脊振町広滝 555 番地 1  
電話 0952-59-2321  
診療所事務局（脊振支所）  
電話 0952-59-2111

## マスクの感染防御力について

脊振診療所では強く不織布マスクを推奨します。理由は下記のように、感染防御の能力（どれくらいコロナウィルスの吸引を防ぐか）において不織布マスクのほうが優れるからです。

不織布マスク 47%

布マスク 17%



東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウィルス感染分野

河岡義裕教授らの報告（2020.10.22）

マネキンを使った実験で、不織布は100人のうち47人に感染を制御しますが、布マスクはたった17人しか制御できないという意味です（データの詳細を知りたい方は脊振診療所までご連絡ください）。

上記のデータからも明らかで、私は、時にマスク警察をしています。布マスクのことを“死を呼ぶマスク”と呼んでいます。恐ろしい呼び方ですが、これぐらい言わないと感染症の情報の少ない脊振の人には伝わりません。

変異株に感染したくない方は、ただちに布マスクを捨てて、不織布マスクに変えましょう（東京ではなかなか不織布マスクが手に入らないから、都会のテレビ動画で多く見かけるそうです）。

\*不織布マスクにかぶれる人は、布マスクの上から不織布マスクをしてください。また、マスクかぶれには弱い副腎皮質ホルモン含有の塗り薬が効果的だそうです。もよりの病院にご相談ください。



所長 桜木 徹

※裏面に「正しいマスクの着け方」を掲載しています。